

9月1日は防災の日 8月30日(木)～9月5日(木)は防災週間  
 災害図上訓練 (DIG)

今、震度7の地震が起きたら…あなたはどう行動しますか？

20\*\*年8月X日午後2時30分 ○○湾沖を震源地とする震度7の海溝型地震が発生しました。

- ▷携帯電話、自宅の電話がつながりません。家族の安否をどのように確認しますか？
- ▷5分後に余震の可能性があります。どこに、何を持って避難したらよいでしょうか？

災害は突然起こります。そのときの季節や時間帯、誰とどこにいるのかによって取るべき行動は変わってくるため、答えは1つではありません。

あなたは日頃から災害が起こったときの対策を考えていますか？また、地域の人たちと防災について話し合ったことはありますか？災害時に頼りになるのは地域の絆です。自分たちの地域の安全は自分たちで守る「共助」の力を強くし、防災意識を見直すために、災害図上訓練 (DIG) に参加してみましょう。

DIGとは、参加者が地図を囲みながら災害 (Disaster) 時の対応策を考える (Imagination) 訓練 (Game) のことです。

▼DIGの役割

**災害を知る**

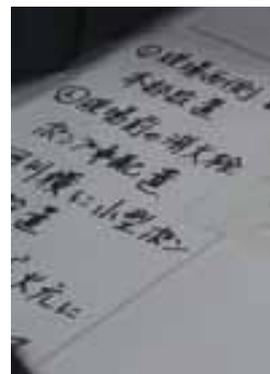
防災を考える上でまず重要なのが、自分のまちで起こる可能性のある災害のイメージを持つことです。「どこで、どのような規模で、どういう被害の発生が予想されるのか」ということを過去のデータなども利用してイメージしましょう。

**まちを知る**

「まちの構造はどうなっているのか」「危険な場所や注意しなければならない建物はどこか」地図に書き込むことで、地域を見直し、どのような特性があるのかを理解しましょう。DIGは「わがまち再発見」の特色があるといわれています。

**人を知る**

「いざというとき頼れる技術を持っている人」や「近所に手助けが必要な人」の情報を地図に書き込んでいくことで、地域の人を理解し、互いに助け合う気持ちが高まります。また、共に作業することにより、信頼関係が生まれてきます。



わがまちのことを知り、わがまちの人とつながる  
 そして、自分たちのできることを見つける  
 それを発見する作業がDIGです

市では本年度、自主防災組織の隊員や町内会長を対象にDIGを行う予定です。DIGを通して、地域の防災力を高め、将来的には、自主防災組織や町内会が地域防災の指導者となって活動できるようになることを目的としています。地域の安全を人任せにすることなく、DIGや防災訓練に積極的に参加し、災害が起きたときのことをイメージしてみましょう。「自分の家の前の道が通れなくなるのでは」「うちから避難所まで遠いけれど、大丈夫だろうか」など気になる点がいくつか出てくるはずです。その気づきが災害対策への第一歩となります。

問 総務課 (内線224)